2017年（平成29年） 6月29日（木曜日） 仏滅（旧閏5月 6日）
〈NO. 12345〉
夕刊 矢祭
夕刊矢祭新聞社 日刊（土曜・日曜・祝祭日休刊） 月額1,000円
矢祭町東舘字桃木町42-2 発行人 菊池正典 ☎46-3508 昭和57年12月6日第3種郵便物認可

天王祭ふれあいや祭り 七月十六日 常陸プロレス等イベント

塙工高和太鼓部演奏でオープニング

矢祭町商工会ふれあいや祭り実行委員会、東舘元気一八通り商店会主催の天王祭ふれあいや祭りは、七月十六日十二時三十分から東舘駅前駐車場において開催する。

ステージは塙工業高校和太鼓部演奏によるオープニングセレモニーで開演し、よさこい踊り、常陸プロレス、フラダンスを各二回にわたり発表する。午後七時から特別抽せん会を行い豪華賞品を贈呈する。抽せんは一八通り商店会のスタンプ六ケ所揃って成に特別抽せん券」を当日会場にて参加できる。

常陸プロレスは社会人プロレス団体により午後二時から五時から二回にわたり実演し、迫力あり笑いあり人気を集めている。

踊りは午後一時から四時まで繰り広げる。

フラダンスは三時三十分から六時まで常夏気分のハワイアンムードを高め、矢祭町イメージアップソング「小さくとも輝く町」のダンスも発表する。

会場内では射的、輪投げ、おもちゃ、焼きそば、焼きとり、クレープ、かき氷、生ビールなど多数出店する。

（写真は昨年も出演した塙工高和太鼓部演奏、常陸プロレスの模様）

命の大切さを学ぶ授業
矢祭中生徒が被害者支援への理解深める

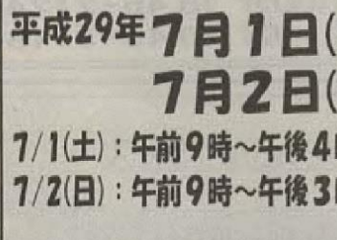
この事業は県内の中学校十六校、人格形成に重要な時期を迎えている中学生・高校生に対し、被害者・遺族等による命の講演を行ない、命の大切さを考えてもらうとともに被害者支援に対する理解を深めてもらうために実施している。

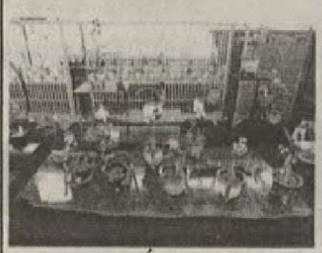
講師は同支援センター支援員・少年犯罪被害者当事者の会会員の渡辺佳子さん（郡山市）が「犯罪被害者遺族となって～命の大切さ～」と題し、全校生徒百四十名と教職員二十人が聴講した。

講師紹介で始まり、渡辺さんの講演は、平成八年、当時高校二年生だった長女朗子さんが、同学年の男子高校生に殺害され、家族は何年経っても悲しみとショックは消えず暗く出口の見えない状態だった。

犯罪被害者の権利も認められてきたが、まだまだ被害者の人が巻き込まれる犯罪は再び起きてほしくないという強い思いから、つらい気持ちを自ら語って命の大切さを訴えた。渡辺さんの講演に生徒たちは静かに耳を傾け、命の大切さをしっかりと学んだ。

第6回 野生らん楽酔会
ウチョウラン展示会
平成29年 7月1日(土)
7月2日(日)
7/1(土)：午前9時～午後4時まで
7/2(日)：午前9時～午後3時まで
会場 矢祭町山村開発センター
（矢祭町大字小田川字春田16-1）
お気軽にお越し下さい
野生らん楽酔会





JAバンク福島
ナツトクキャンペーン
この夏お得なチャンスを捕まえよう!!
キャンペーン期間
2017 6/1(木)▶8/31(木)
1 Present
期間中、JAエコ定期貯金10万円以上新たにご契約された個人の方に
すてきなグッズプレゼント
JA東西しらかわ矢祭支店
JAバンク福島 ☎46－3145

御愛顧家と同様のこころをもってご葬儀のお手伝いをいたします
さわや
☎46-2033（夜間も同様）

やまつり元気祭2017 十一月三日に向け 執行体制・日程等を協議

昨年の実績、波及効果など検討
町、商工会、ＪＡ、振興公社で組織

今年度の矢祭やまつり元気祭2017は、十一月三日（祝）に行われる。今年も文化の日へ向けて協議した。

次いで、町、商工会、ＪＡ、振興公社の各団体制・日程等について協議した。

前年の実績報告や経済波及効果調査結果などを確認し、これらを踏まえて充実した内容を検討する。

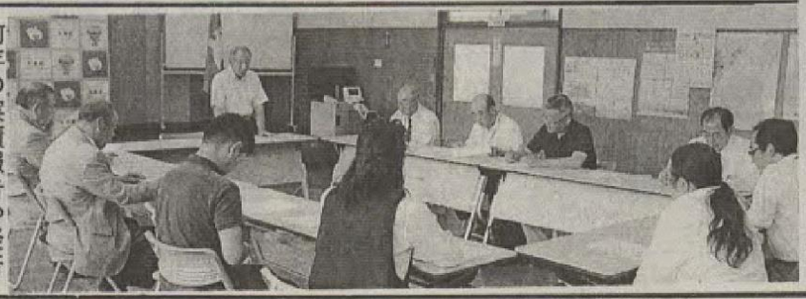
実行委員会組織は会長に古張町長、副会長に高信商工会長、副会長に高橋竜一事業課長があたり、各関係者が実行委員・スタッフを担当する。

一月三日（ユーパル）へ十一月三日（祝）に開催する。

駐車場をメインピンアスレチック駐車場に、メインステージをわくわくピア前スペースを特設する。

矢祭町の魅力を伝えるイベントとして、交流できる農産物の販売会場の確保及び農産物の販売実施、わくわく農産物品評会の開催、特産品の展示会の実施及び企画、盛り上がるステージの実施、ステージ上での内容をのべ六十一人・一動員数を対比、一目瞭然。

今年の開催にあたり、千人を超えるスポーツ型イベントの開催にあたり、さらに沿道の頑張る団体の紹介、テントの設置、わくわくする町の魅力を伝えるイベントとして、交流できる農産物の販売会場の確保及び農産物の販売実施、わくわく農産物品評会の開催、特産品の展示会の実施及び企画、盛り上がるステージの実施、ステージ上での内容をのべ六十一人・一動員数を対比、一目瞭然。



第二回来る里の杜へ登ろう 参加者募集

大字金沢の来る里の杜へ登ろう（第二回目）は、七月一日（土）午前六時から実施する。

古民家の復活へ前進 トラック撤去、かやぶき屋根含む全面修復へ

今月五日の交通事故で古市泰久さん＝棚倉町根木平屋に突っ込んだ八木造中型トラックが撤去された。

また「書留め着いた」
息子を名乗る不審電話

二十七日午後七時三十分ごろ、塙町内Ａさん（七十歳代・女性）方に、「ラガ」と息子を名乗るガラの男性から「〇〇だけど、書き留めが着いたが、」と息子の電話を受けたが、違うことから不審に思い「〇〇の声じゃない」と答えた。

百名山踏破の佐川糸雄さんが楽しさを子どもたちに

百名山踏破の佐川糸雄さんが楽しさを子どもたちに

百名山踏破の佐川糸雄さんが楽しさを子どもたちに